

## 協働の推進に向けて



協働のまちづくりを進めていくため、それぞれの考えを持ち寄り、得意なことで力を出し合いながらみんなで取り組んでいきましょう。

### ▶ 方針

#### ● 地域コミュニティ活動を推進します

町内会などの地域コミュニティの重要性を認識し、地域の中でゆるやかなつながりを維持しながら、持っている力を発揮し、災害が発生したり、困ったときなどに互いに助け合い、支え合うことにより、誰もが暮らしやすい地域をつくります。

#### ● 交流を推進します

お互いの理解を深めるため、新しい生活様式に対応した集会やインターネットの活用など様々な手段を用いて多様な主体の積極的な交流に努めます。また、協働のまちづくりを推進するためのネットワークの構築に努めます。

#### ● まちづくりを担う人材を育成します

まちづくりの主役は市民であるという思いを共有し、まちづくりを担う人材の育成に努めます。また、その目的を達成するため、次世代と活動を共にしながら引き継いでいくことや学習する機会と場を設けるよう努めます。

#### ● 富谷を愛し、自発的に活動する子どもたちを育成します

子どもたちをまちづくりの担い手として尊重し、健やかに成長することのできる環境づくりに努めます。また、様々な体験と交流を通じて、郷土を愛し、自発的に地域社会に貢献する子どもの育成に努めながら、子どもたちに富谷のよさを感じてもらい、伝えていきます。

#### ● 情報を共有します

協働するための情報を積極的に受信し、全世代に発信するよう努めます。また、対話をはじめ様々な手段を通じて、相互に交流及び協働するための情報の共有に努めます。

### ▶ 推進に向けた取組

- 情報発信を充実し、学び・交流の機会と場をつくります
- 市民が活動しやすい環境をつくります
- 活躍する市民を増やします
- 多様な主体による協働を推進するための体制をつくります

令和3（2021）年3月発行

- ◆ 発行 富谷市
- ◆ 編集 総務部市民協働課  
〒981-3392 富谷市富谷坂松田 30 番地  
TEL 022-358-3250 FAX 022-358-2259  
Mail kyoudou@tomiya-city.miyagi.jp
- ◆ 市ホームページ <https://www.tomiya-city.miyagi.jp/>



# わくわく つながる わたしたちのまちづくり

## — 富谷の協働ガイドライン —



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



令和3年3月  
富谷市

## ガイドラインの目的

### ▶ ガイドラインのねらい（趣旨）

富谷市では、2016年の市制移行を機に、同じ目的のために、役割を分担し、市(市役所等)と市民、または市民どうしなどが共に協力して活動する「協働」の手法を再認識して、市民の思いや活動を活かしながら、よりよいまちづくりを進めていこうという機運や取組がこれまでも増して高まってきています。

このような中、まちづくりに関わる市民や団体、企業、市などが、よりよいまちにしたいという思いを一つにし、共に力を合わせ、まちづくりに取り組むための考え方や方向性を具体的に示すものが必要となってきました。

このことから、市民や団体、企業、市などが、共にまちづくりに取り組むための具体的な考え方や方向性をみんなで共有することを目的とした、わかりやすいガイドライン(指針)を考え、つくことにしました。

### ▶ 市が目指す協働のまちづくり

富谷市では、富谷市総合計画基本構想において、「住みたくなるまち日本一」を目指し、健全なまちづくりに向けて、市民みんなが協働するまちづくりを実現することを目標にしています。都市化が進み成長を続けている中で、まちの魅力と持続可能性を高め、少子高齢化や災害発生時などの社会の変化に柔軟に対応していくため、世代や立場を超えた多様な人々がつながり、みんなの知恵と力を活かす「オールとみや」の体制で、誰もが「住みたくなる」、そして将来にわたって「住み続けたくなる」まちづくりを進めていきます。

## 「協働」とは

協働は、色々な立場の人たちが、同じ目的のために、役割を分担し、お互いを尊重しながら、協力して活動することです。

市民、公益的な活動(公共の利益につながる活動)を行う団体や公益法人、事業者、市など、異なる性格を持つ組織・集団が、同じ目的のために役割を分担し、お互いを尊重しながら、同じ目線に立って、連携・協力しあうことをいいます。

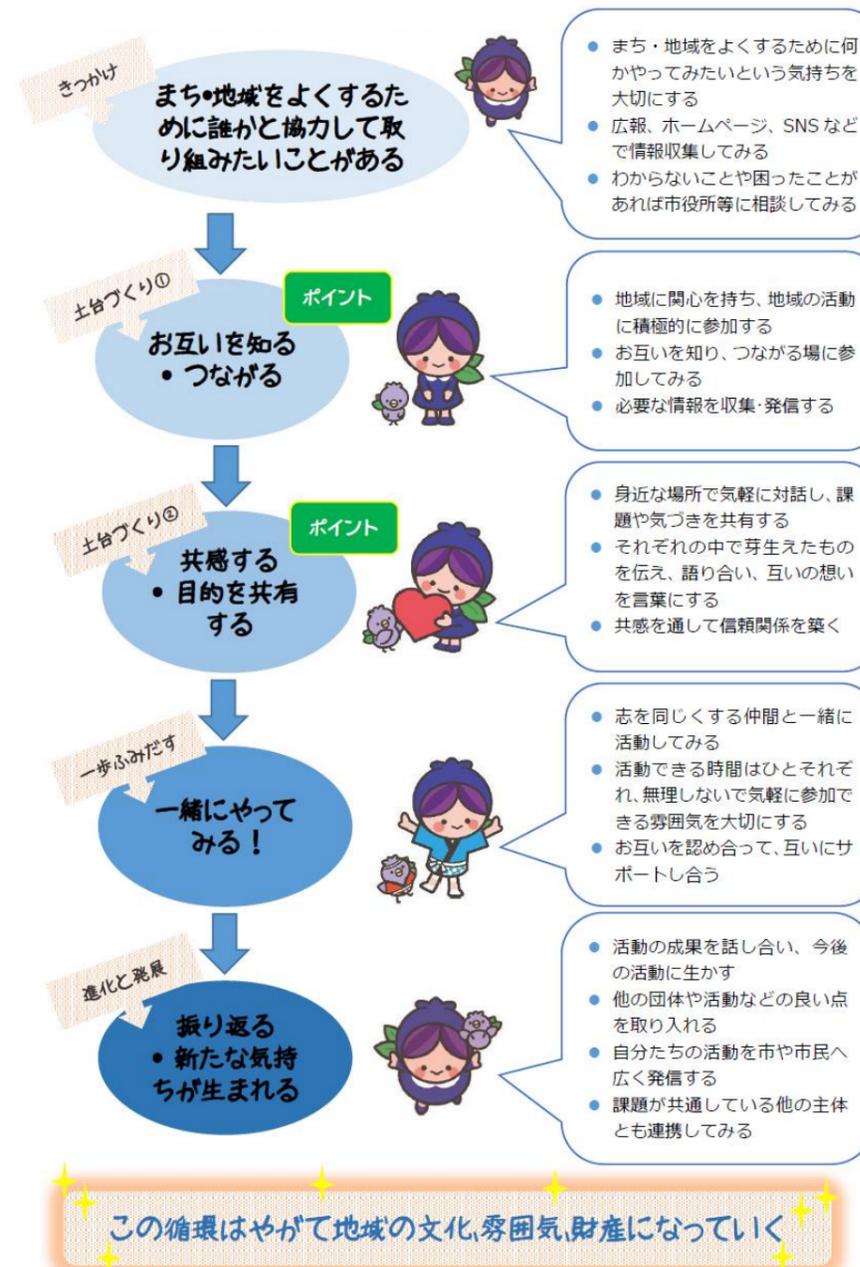
また、協働は、課題を解決するための一つの方法として捉えていくことが大切であり、様々な結びつきから、人と人のつながりを広げていくことが、協働の取組の基本となります。



## 協働を進めるうえで配慮すること

- 目的を共有し、楽しく、無理なく、ゆるやかなつながりと意見を出し合える風とおしのいい活動を心がけましょう。
- 情報を共有し、対話や様々な手段での話し合いを重ね、お互いを知ることによって共感と信頼関係を深めましょう。
- それぞれの役割及び責務を理解し、お互いが同じ目線に立って協力するパートナーであることを認めあいましょう。
- それぞれの主体の特性の違い、自主性及び自立性を尊重しましょう。
- 年齢、性別、国籍、心身の状況、社会的及び経済的な状況の違い等に配慮するなど、一人ひとりの個性を尊重しましょう。

## 協働による活動の進め方



### 様々な協働のかたち

「成田地区 地域との防災教育活動」



「富谷塾生の活動」



「とみやはちみつプロジェクト」



「富谷茶復活プロジェクト」

